耳 かんようくを 使おう

ことわざ

むずかしい ★★★ ・ 文に 合う かんようくを えらぶ

文の 意味を 考えよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1

（　）に 合う かんようくを えらんで、□に 記ごうを 書こう。入れる ときは 文に 合う 形に かえて 読もう（焼く→焼いて）。

㋐ 耳を すます
㋑ 足を 運ぶ
㋒ 鼻に つく
㋓ 目を 丸くする
㋔ 手を 焼く
㋕ 首を かしげる
㋖ 口を そろえる
㋗ 顔が 広い

1 弟の いたずらには、母も（　）いる。□

2 手品を 見て、みんなが（　）。□

3 「おいしい」と、みんなが（　）言った。□

4 何度も 図書館に（　）調べた。□

5 ふしぎな 答えに、先生は（　）。□

6 鳥の 声に（　）。□

7 おじは（　）ので、町の 人を みんな 知って いる。□

8 自まん話ばかりで、話し方が（　）。□

できたら はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）